

17名の議員が聞いた！ 一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり、政策提言も含めて市に考えを聞くものです。平成24年12月議会では、17名の議員が登壇しました。全質問項目は左記のとおりです。9ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。なお、一般質問の全文は、各図書館などに置いてある議事録か、インターネット（市議会ホームページ内の「会議録検索」）で閲覧することができます。



起業意識の刺激、 起業活動の活性化を！



小林由明 議員 (旭日会)

問 住民の自主自立の精神を呼び起こし、より豊かな生活とまちの発展を実現するために、起業意識の刺激・醸成と、起業活動を活性化させる施策が必要であると考えますが、市はどのように考えているか。

答 地域経済発展の方策の一つとして、業を起す活動の活発化あるいは新たな産業を育成していくということ、非常に重要であると考えており、創業のための融資や新商品開発のための補助金「商店元気塾」といった新産業に

取り組むための支援策を用意している。

また、起業という問題に限らず、若い人たちの力を未来の燕にどうつないでいくか、生かしていくのかは、平成25年度事業のテーマの一つに掲げたいと思っている。

問 市所有の建物や工業団地の空き工場、商店街の空き物件などを活用し、学生・研究者などがベンチャービジネスを展開しやすい環境を整備する考えはないか。

答 空き工場や未利用店舗を活用した場合の賃料等の助成を行っている。また、地場産センター内にはインキュベーション施設と産学共同研究開発室があり、創業を支援する環境は整備されている。



地場産業振興センターでは、起業・創業の支援も行っていきます。

教育問題について問う



田辺 博 議員 (無所属)

問 学校で学んだことを生かすには家庭の教育も大きいと思うが、**答** 家庭教育の重要性について、家庭教育学級の開催を支援している。

問 生活様式が多様化し複雑に変化しているが、子どもたちに戸惑いはないか。**答** 学習指導補助員・介助員を配置し、教育方法を見直し、戸惑うことのないよう対応している。



問 学校で学んだことを生かすには家庭の教育も大きいと思うが、**答** 家庭教育の重要性について、家庭教育学級の開催を支援している。

① 小林由明 議員 (旭日会) P.9

1. 起業活動の活性化と、起業意識の刺激について
2. 市の業務の民営化や指定管理者制度導入の今後と、市内事業者の育成について
3. 職員間の意思疎通について
4. 各種行事における国旗と市旗の掲揚方法について

③ 本多了一 議員 (日本共産党) P.10

1. 市長の政治姿勢について
2. 県央大橋西詰めのもニュメント、あのみまでよいか
3. 教職員住宅に関連して

⑤ 渡邊雄三 議員 (公明党) P.11

1. 中小企業対策について
2. 介護福祉について
3. 小型家電リサイクル法について

⑦ 中山真二 議員 (旭日会) P.12

1. 産業について
2. 地域の高齢化に対する地域管理について
3. 公園整備について

⑨ 埴 豊 議員 (旭日会) P.13

1. 教育問題について
2. 65歳定年制導入に向けて

⑫ 渡邊広宣 議員 (鴻鵠クラブ) P.14

1. 産業政策について

⑮ タナカ・キン 議員 (無所属) P.16

1. 電車での遠距離通学の児童と学区について
2. 子宮頸がんワクチン接種について

② 田辺 博 議員 (無所属) P.9

1. 教育問題について

④ 樋浦恵美 議員 (公明党) P.10

1. 安心して暮らせるまちづくりについて
2. 学校施設における非構造部材の耐震化について

⑥ 長井由喜雄 議員 (日本共産党) P.11

1. AEDの有効的活用と心臓震盪を防ぐ取り組みについて
2. ジェネリック薬への転換の取り組みについて
3. 避難訓練から明らかになった課題

⑧ 中島義和 議員 (大河の会) P.12

1. 公共施設の跡地活用について
2. 市民霊園、墓地公園の墓地造成について
3. 新庁舎周辺の環境整備について

⑩ 齋藤信行 議員 (大河の会) P.13

1. 除雪計画について
2. 消雪パイプについて
3. 除雪路線の実施について
4. 空き家の状況について
5. 海外視察について
6. えちご燕物産館について
7. 「たのうら燕」を含め市内の施設等のスクラップアンドビルドについて

⑬ 山崎雅男 議員 (旭日会) P.15

1. 一般国道116号(仮称)吉田バイパス整備について
2. 主要地方道燕・分水線4車線化拡幅事業延伸について
3. 子どもたちが夢を抱き、個性を伸ばす教育の在り方について(吉田南小学校創立50周年記念夢づくり講演から学んだこと)

⑯ 阿部健二 議員 (無所属) P.16

1. 『教育立市宣言』をしている燕市が、市の図書館を指定管理へ移行する意義について
2. 燕市の水道局も遠くない将来、指定管理者制度に組み込まれてしまうのか
3. 市の老人福祉施設への今後の対応と福祉施設の指定管理者制度の関連について
4. 市の指定管理者制度導入への積極さからも、市役所そのものが指定管理者制度になることを予感するのだが…

⑪ 齋藤紀美江 議員 (旭日会) P.14

1. 認知症対策について
2. 市民協働への取り組みについて
3. 防災計画・防災訓練について
4. 男女共同参画の取り組みについて

⑭ 土田 昇 議員 (日本共産党) P.15

1. 農業問題について
2. 県央基幹病院の建設について
3. 燕市おひさまプロジェクトについて
4. 自然再生エネルギーについて

⑰ 大岩 勉 議員 (旭日会) P.17

1. 燕中学校女子剣道部に、特別燕市民栄誉賞を授与すべきではないか
2. 燕・吉田庁舎の再活用と産業支援について
3. 燕市地域防災計画について
4. 学校教育について

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。本会議における質問の順番は受け付け順となっています。



高齢者の歩行を補佐するスロープ

問 中小企業の資金繰りの悪化などの対応策として実施されてきた中小企業金融円滑化法が、平成25年3月に終了の期限を迎えるが、本市にとってどのような影響が考えられるのか。

答 以前より制度資金の借りかえや、信用保証協会の保証料助成を拡充して対応している。国や県内の支援機構と連携しながら情報収集に努め、中小企業金融円滑化法の終了が直接的な原因となつて廃業に陥る企業が出ることはないよう、状況を注視していきたいと考えている。

問 介護保険での福祉用具購入費、ポータブルトイレや入浴の椅子

問 介護保険での福祉用具購入費、ポータブルトイレや入浴の椅子

答 介護保険での福祉用具購入費、ポータブルトイレや入浴の椅子

問 小型家電リサイクル法が、2013年4月から施行されるが、どのような対応を検討しているのか。

答 実施方法にも、地域の特性に合ったいろいろな手法があると思われる。今後の実施については、産業のまちであることも踏まえて、燕市に合った手法、燕市らしい回収方法を工夫、研究して取り組みたい。



渡邊雄三 議員 (公明党)

中小企業対策について問う

ギジョウデ・ギインノ・ナマノコエ・キキマセンカ

柏崎刈羽原発の再稼働を考える



本多了一 議員 (日本共産党)

問 柏崎刈羽原発にかかわる問題だが、ご存じのように、燕市の一部は、原発事故が起きた場合の危険区域の30キロ圏内に入っている。10月に行われた県知事選挙でのNHKの出口調査では、「柏崎刈羽原発の再稼働に反対する」という意見が約70%あったと言われている。

知事選で誰に投票したのかは別として、燕市民の中にも、この感情が多くあつたものと推察できる。柏崎刈羽原発で、福島第一原発のような事故が起きたら大変なことになる。多くの市民が心配して



いるのではないかと。そこで市長に聞くが、市民の中にあると思われる心配についてどう心を寄せているのか。柏崎刈羽原発の再稼働という問題に、どのような見解を持つているのか。

答 柏崎刈羽原発への市民の思いだが、昨年の福島第一原発の事故の際、福島県から多数の避難者が燕市に來られた。市民の皆さんもその姿を目に焼きつけておられるので、柏崎刈羽で同様の事故が起きた場合を想定すると、市民の方々の中には大きな負担になると私自身気にかけている。

再稼働については、まず福島第一原発の事故の検証だが、今のところ抜本的な安全対策の措置を講じることが終わっていない。これが終わるまで、再稼働の議論をすべきではないと考えている。

「救える命は救う」行動を起こして



長井由喜雄 議員 (日本共産党)

問 学校設置のAEDは夜間開放利用者にも対応できる場所に変更するべきだ。また、使い方や心臓マッサージ練習キットを導入し、「救える命は救う」行動を起こしてほしい。球技部などでは、胸部保護パッドをつけさせて心臓震盪から子どもを守ることを進めてほしい。自販業者が無料で提供するAEDもあり、導入を検討すべきでないか。

答 専用ボックスを用意し、学校開放での活用を検討する。児童生徒に使用説明会を行う学校もあり、実施校の情報他校へも提供したい。保護パッドは国の動向や医師会の意見を参考

問 国保の差額通知の取り組みによるレセプトデータから、重症化や新たな疾病を防ぐなどの活用が期待できる。また高額医療の対象となる疾病を、保健指導などで抑えるなど本人へも寄与する。考えられる具体的活用策はどうか。

答 分析によると、1カ月間で同じ病気の重複・頻回受診、重複服薬者がかなりいた。差額通知は6570人に送付し、2回分の集計でジェネリック薬への切りかえが33・6%、効果は約300万円となっている。データは重症化予防や受診行動適正化に活用したい。

問 学校設置のAEDは夜間開放利用者にも対応できる場所に変更するべきだ。また、使い方や心臓マッサージ練習キットを導入し、「救える命は救う」行動を起こしてほしい。球技部などでは、胸部保護パッドをつけさせて心臓震盪から子どもを守ることを進めてほしい。自販業者が無料で提供するAEDもあり、導入を検討すべきでないか。

答 専用ボックスを用意し、学校開放での活用を検討する。児童生徒に使用説明会を行う学校もあり、実施校の情報他校へも提供したい。保護パッドは国の動向や医師会の意見を参考



AEDや胸部保護パッドで命が救えます

安心して暮らせる まちづくりを!



樋浦恵美 議員 (公明党)

問 65歳以上のひとり暮らし高齢者などに緊急通報機器を貸与しているが、何名の方が利用されているのか。利用者負担として非課税世帯は月額500円、課税世帯は月額1000円を負担しているが、今後見直す考えはあるのか。

答 緊急通報システムの利用については、8月から既存の機器にシステムを追加し、30人が新規に設置され、11月末現在93人が利用している。利用者負担は、以前から利用されている方には「3年間無



ボタン1つで緊急事態に対応します

料で事業を進めている。3年経過した中で、検討していきたい。

問 外出時の急病対策の一環として、緊急連絡先や病歴などを記入できる「救急安心カード」のようなものを作成し、配布できないか。

答 燕弥彦消防本部では、日ごろからその有効性を講習会などで啓発し、各自で準備をしていただくようお願いしている。

問 学校施設における非構造部材の耐震化について、体育館の天井や照明器具などの破損はあったのか、点検はされてきたのか。今後どのように取り組まれるのか。

答 天井材や照明器具の落下等はなく、点検については、3年に1回、特殊建設物定期調査を専門業者に委託している。今後、非構造部材の耐震化を計画的に図りたい。



埴 豊 議員 (旭日会)

家庭と学校を繋ぐために

問 家庭教育と学校教育との境界について、日常生活を送る上で、基本的な挨拶、返事、さらには箸の持ち方までもが、学校教育でという現状である。学校教育で担えることと家庭でしつける部分を保護者に理解してもらった上で、指導すべきと考える。学力問題については、学力調査結果から見れば、小学校よりも中学校に多くの問題点が見られるので、市内のある中学校では宿題を出さずに自主的に家庭学習に取り組むよう指導していると言われたが、余りに理想論に終始し

答 今年度から、職員育成を目的に市長が講師を務める「市役所長善館」を開講し、その時期に備えている。従来からの各種研修や、国・県との人事交流などによる知識の習得に努めているが、今後数年にわたる重要な課題である。

問 家庭教育と学校教育との境界について、日常生活を送る上で、基本的な挨拶、返事、さらには箸の持ち方までもが、学校教育でという現状である。学校教育で担えることと家庭でしつける部分を保護者に理解してもらった上で、指導すべきと考える。学力問題については、学力調査結果から見れば、小学校よりも中学校に多くの問題点が見られるので、市内のある中学校では宿題を出さずに自主的に家庭学習に取り組むよう指導していると言われたが、余りに理想論に終始し



燕中学校

問 家庭教育と学校教育との境界について、日常生活を送る上で、基本的な挨拶、返事、さらには箸の持ち方までもが、学校教育でという現状である。学校教育で担えることと家庭でしつける部分を保護者に理解してもらった上で、指導すべきと考える。学力問題については、学力調査結果から見れば、小学校よりも中学校に多くの問題点が見られるので、市内のある中学校では宿題を出さずに自主的に家庭学習に取り組むよう指導していると言われたが、余りに理想論に終始し



市の除雪路線延長数は、車道 433.9 km、歩道 91.2 km に及び

昨年の大雪を踏まえ 今年の除雪計画は

問 除雪計画の中で、昨年との違いはあるのか。

答 出動基準等に変更はないが、除雪機械は車道1台、歩道2台を増強し、昨年より3台増の140台の態勢となった。国・県と連携を図り、効率的な除雪を実施したいと計画している。

積雪がおおむね50センチぐらいになると、雪捨て場についての問い合わせが寄せられる。住宅地などでは雪の押し場がなくなることから、今年は早目に雪捨て場を確保すべく準備を進めているところである。

問 消雪パイプによる朝の冷却時の路面凍結への対策は。

答 消雪パイプの関係は、朝の通勤時など、路面凍結が事故に直結するということで、従来から坂道やカーブについて計画に盛り込んできた。これについては、これまでの経験を毎年積み重ねる中で、計画の中に凍結防止剤の散布やパトロール等を通じて、道路の安全確保に努めたいと考えている。

問 閉店する「えちご燕物産館(両国店、町田店)」について聞きたい。

答 お米に関しては、閉店後も取引を続けていく。登録されているお客様へのダイレクトメール、ネスパスや町田市郊外の住宅団地のイベントを通じて、今後もPRと販路拡大に努めていく。



齋藤信行 議員 (大河の会)



活用されない空き地

問 緊急時や災害時に対応できるような大型駐車場、ベンチ、あずまやなど、災害時に利用できる災害関連機能を兼ね備えた公園として計画している。

問 産業史料館隣接の空き地に、使われなくなった燕産業の機械を置いて、機械の森のような広場にしてはいかがか。

答 周辺の土地利用も含めて集中的に検討したい。

問 TSO (品質管理の燕規格) に関して、吉田・分水地区からも参加しやすいように燕市でやってほしいという要望を聞いたが、その対応について伺う。

答 燕商工会議所の事業として2年しか経過しておらず、吉田、分水商工会を含め業界の合意形成を図った上で、移管の申し出、あるいは市と業界の共同実施の提案があれば検討したい。

問 タイを視察して、「ものづくり燕」の方向づけの考えは。

答 日系のメーカーが4000社ほど進出しているが、仕事量はあまり多くない。労働力不足、賃金の上昇などの不安要因もあり、日系企業同士の激しい競争下にある。国内外いずれの市場でもかぎになるのは、ほかとの差別化、オンリーワンの技術力を磨くこととと感じた。今後そこを支援する施策を考えたい。



中山眞二 議員 (旭日会)

「ものづくり燕」の今後と公園整備

新庁舎周辺の環境整備について



中島義和 議員 (大河の会)

問 市道602号線排水路は、上流部の生活排水路の役目を担っている。地域からの改修要望はあるのか。

答 当該排水路は、その上流部において小学校や公園・住宅団地造成などの開発が進み、生活排水路的な要素が多くなってはいるが、区域内に多くの圃場があり、現段階では難しい。国道116号吉田バイパスが進捗した段階で、道路整備区域の範囲内で一部排水路整備は可能である。

問 都市計画マスタープランでは、新庁舎周辺土地利用で行政拠点の形成となっている。

答 春日町交差点から東栄町交差点北詰まで用地買収・物件補償がほぼ完了しており、来年度から工事に着手できると聞いている。なお、遅延して残る区間の東栄町交差点から西太田交差点までは、新たな事業を開始し、並行して事業を進めることになっている。

問 東町にある中越衛生処理場跡地の公園整備について。

答 緊急時や災害時に対応できるような大型駐車場、ベンチ、あずまやなど、災害時に利用できる災害関連機能を兼ね備えた公園として計画している。

問 産業史料館隣接の空き地に、使われなくなった燕産業の機械を置いて、機械の森のような広場にしてはいかがか。

答 周辺の土地利用も含めて集中的に検討したい。

問 市道602号線排水路は、上流部の生活排水路の役目を担っている。地域からの改修要望はあるのか。

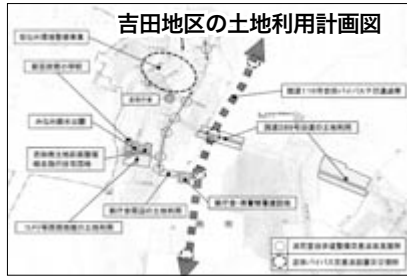
答 当該排水路は、その上流部において小学校や公園・住宅団地造成などの開発が進み、生活排水路的な要素が多くなってはいるが、区域内に多くの圃場があり、現段階では難しい。国道116号吉田バイパスが進捗した段階で、道路整備区域の範囲内で一部排水路整備は可能である。

問 都市計画マスタープランでは、新庁舎周辺土地利用で行政拠点の形成となっている。

答 春日町交差点から東栄町交差点北詰まで用地買収・物件補償がほぼ完了しており、来年度から工事に着手できると聞いている。なお、遅延して残る区間の東栄町交差点から西太田交差点までは、新たな事業を開始し、並行して事業を進めることになっている。



建設中の新庁舎



問 吉田バイパス整備に向けて市民に署名活動を行い、国・県に

答 新庁舎ができ、隣に警察庁舎が来ることから燕市の理屈で訴えたが、今度は万一原発事故が発生した際、柏崎原発周辺の住民が速やかに避難できる県全体の命を守る道路としての考え方で、国・県に強く要望したい。当面は既存の国道116号改良整備促進期成同盟会での対応としてたい。

問 災害時はもとより、地域経済の発展や地域交通の安全性を図り、日常の安全・安心な生活を享受できるように、抜本的な解決策としての吉田バイパス整備が急務である。早期実現に向け、自治会や各団体等で組織する整備促進期成同盟会を立ち上げて、方向性を示せないか。

いつまで待たせるのか 吉田バイパス整備



山崎雅男 議員 (旭日会)

要望書を提出すべきでないか。11キロ区間の総事業費は幾らくらいだと予想されるのか。

答 既存の期成同盟会を活用して、その後の署名活動は有効な手法である。環境が整い次第、検討したい。総事業費は4〜500億円程度ではないか。

問 交通量が増大し、危険性がある地方道燕・分水線田中地内の信号機設置と、野本地内の横断歩道・標識を公安委員会に働きかけるべきではないか。

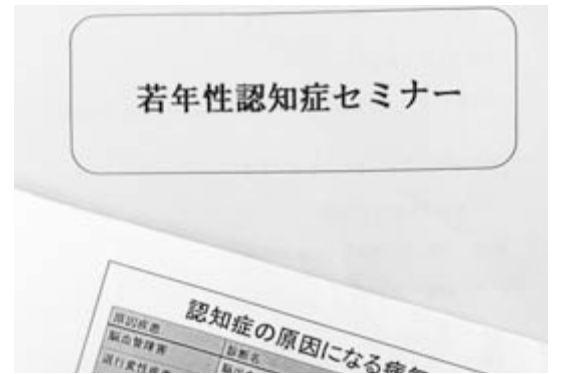
答 田中地内の信号機設置に向けて、今後も継続的に強く要望を行う。野本地内の横断歩道は、警察署から発注済みで、間もなく設置され、標識も設置される。

増え続ける認知症への対策を問う



齋藤紀美江 議員 (旭日会)

問 国の発表によれば、認知症は予想を超えて増加しており、今後5年間の対応計画を策定し、早急に取り組むとしている。燕市の現状と課題は何か。また、実態の把握も難しい若年性認知症についても対応が必要と思うがどうか。認知症も病気であり、早期発見・早期治療で改善できることを知ってもらう必要があるのではないか。また、サロン活動などの普及や人材の育成も必要ではないか。



若年性認知症について理解を深めたい

答 認知症の高齢者数は、65歳以上の10人に1人の割合となっており、今後5年間で68万人増の373万人になると推計されている。燕市ではグループホーム等の整備やサポーター養成講座の開設、予防のためのレインボー体操の普及などに取り組んでいる。今後実施整備を図っていくことと、認知症への理解を深めてもらうこと、サロン活動の活性化を図るためのリーダー養成に取り組んでみたい。

若年性認知症については、理解の促進と早期診断、医療と介護の充実、雇用継続や就労支援、障がい者手帳の早期取得や障がい者年金受給などに対する支援など、一人一人の状況に応じた支援が必要と思っている。

ギンガ・カンガエル・ツバメシノ・コレカラ

将来産業の投資、育成について



渡邊広宣 議員 (鴻鵠クラブ)

問 燕市の主要産業である金属加工業だが、平成22年度の製品出荷額約3300億円中に占めるウエートは低く、その傾向は年々顕著になっている。既存の業種も大事だが、今後新たに産業を育てること、特に若者が就業する場所の確保は、地域の活性化のためにも必要と考えるが、現況と今後の展望について伺う。

答 基本的に産業政策は福祉政策でない観点から、新しい時代の変



化に対応する取り組みに対して応援するスタンスにある。成長産業における産学連携を推進、独創的な基盤技術の確立を図っていく。

まず一つ目は、新潟大学産学地域連携推進機構との共同事業として、大学と市内企業との連携、開発の構築について具体的に取組んでいく。

二つ目は、国内市場2兆円程度と言われる医療分野での、医療機器産業参入支援事業の推進である。医療機器の市場は、今後拡大の見込みであり、燕の技術の部品・部材需要は大いに見込まれると考えられる。地元企業が医療機器産業に本格的に参入していくための支援を引き続き行い、地域経済活性化に努めていきたい。

農業問題と 県央基幹病院の建設は



土田 昇 議員 (日本共産党)

問 TPPに参加すれば、日本の農業は壊滅的な打撃で立ちゆかなくなると新聞報道されている。議会もTPP参加に反対する請願を2回も採択しているが、市長の見解について伺う。

答 関税自由化になると、日本においては農業分野で大きな影響があるという認識は一致している。

参加すると言っている一部の政党もあるが、



議論不足、情報開示不足で、私自身は非常に遺憾だと思っている。

問 県央の基幹病院の建設問題について、「燕労災病院と厚生連三条病院に経営主体となるかどうか協力を要請している」と9月議会でも答弁しているが、それ以後どのような状況か伺う。

答 指摘の経過のとおりで、我々も新聞報道でしか情報を仕入れていないが、基本的にはまず県が主体的にいろいろな調整・検討を進めている。

問 県は、年度内に知事と5市町村長でつくる合同会議で再編案を示す方針であるが、経過も含めて市民に説明すべきと思う。また、県立吉田病院については、今以上の縮小はさせるべきではないと思うが、これらの点について伺う。

答 「年度内の早い時期に」と新聞報道されているが、それが示された上で機会を捉えて説明したいと思っている。県立吉田病院の位置づけや規模については、同じ考

燕中女子剣道部に 特別市民栄誉賞を

問 燕中女子剣道部の全国中学校剣道大会3年連続5回目の優勝は偉業である。顧問監督の努力に対しても、特別燕市民栄誉賞を授与すべきではないか。

答 監督・保護者には偉業を祝福し、心から感謝するが、団体戦の連覇であり、今年のチームだけ特別に表彰することはしない。

問 燕、吉田庁舎の再活用は、企業支援起業家育成を考えた、貸し支援室としたらどうか。燕商工会議所の脱下請自社商品開発取り組みに支援をしてほしいが、いかがか。

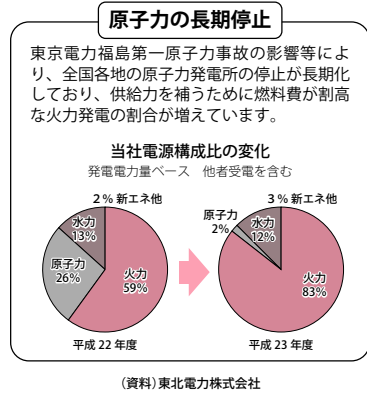
答 起業家育成のため、公共的団体への多目的スペースや支援室などの賃貸、脱下請や自社商品開発取り組みに対し、積極的にサポートしていく。

問 燕市地域防災計画を問う。日本列島脱原発と「付和雷同」のごとく叫ばれているが、市内企業はこれ以上の節電は難しく、困惑されている。発電所の運転状況を把握されているか。

答 燕市地域防災計画に反映でき



大岩 勉 議員 (旭日会)



るよう作業している。火力発電施設は飽和状態で燃料高騰による電気料金値上げは、地域経済の活性化雇用への影響が心配される。

問 燕中等教育学校の生徒の態度や振る舞いには、毅然さと日本人としての礼節さがある。他校の教育現場も見習ってほしい。

答 今後市内の学校との交流を深める機会を設け、互いに切磋琢磨していく。



編集会議では、活発な議論が行われています

このたび議会報等特別委員会の委員として、議会報の編集作業に携わらせていただくことになりました。市民の皆様から親しんで読んでいただける、わかりやすい紙面づくりを心がけながら取り組んでいきたいと思っています。(樋浦恵美)

新しくスタートします！ 私たちが編集委員です

ヨミヤスイ・シメンノ・タメニ

ワクチン接種は無駄打ちか！



夕ナカ・キン 議員 (無所属)

問 子宮頸がんワクチンの安全性について。
①なぜ中学1年生の女子への接種か。
②接種は任意となつていますが、接種率は。
③有効性は。
④女性がウイルスに感染する割合と感染者のがんを発症する割合は。また、どういった人たちが多く発症するのか。
⑤定期的な検診でがんの発症は防げないのか。

答 ①発がん性ウイルスの感染する可能性が低い10代前半が効果的であるため。
②来年度は定期への検討がされている。接種率は80・2%である。



③予防効果は7年〜9・4年。
④女性の80%が一度は感染すると言われるが、自然消滅するウイルスなので、がんに至るのは感染者の1%未満である。
⑤・・・(答弁なし)

問 29歳までの女性の10万人に13人が発症するならば、県内の約1万人の中学1年生では1・3人が発症する割合になり、ワクチンの有効性が60%から70%なので1・3人を0・3人に減らす効果が期待できる。そして、そのための予算が県内で約4億8000万円と推計される。しかし、20歳を過ぎればまた接種した方がいいという費用対効果について疑問である。また、このワクチン接種は危険だと警告している人もいる。本当に安心安全なのか。

答 燕医師会に確認したが、そのような懸念はないとの回答である。



図書館の指定管理者 制度への移行について

問 三条市の人から「指定管理で図書館サービスがよくなった」という話を聞いた。ここで考えるべきは、公営図書館より指定管理の図書館が喜ばれている現実で、その反省もなく、市が「指定管理にして図書館サービスを向上させる」ということがおかしい。

①図書館の指定管理者制度への移行について、住民への説明責任は十分と言えるのか。
②指定管理をNPO法人に任せると考えはなかったのか。
③教育立市宣言を掲げているま



阿部健二 議員 (無所属)

ちにふさわしい図書館の構想は持っているのか。
答 ①6月と9月の議会で説明させてもらったが、今議会でも指定管理者選定等委員会での報告をもとに説明した。指定の議決を経た後は、指定管理への円滑な運用に向けて準備に努め、市民の皆さんへも混乱のないよう移行についての周知を図っていきたく考えている。
②指定管理者の募集は、広く公募により行った結果、株式会社2社から応募があった。決してNPO法人を排除したものではない。
③今後も、現在の3施設を有効に活用し、地域の身近にある「知」の拠点として一層の充実を図っていききたい。